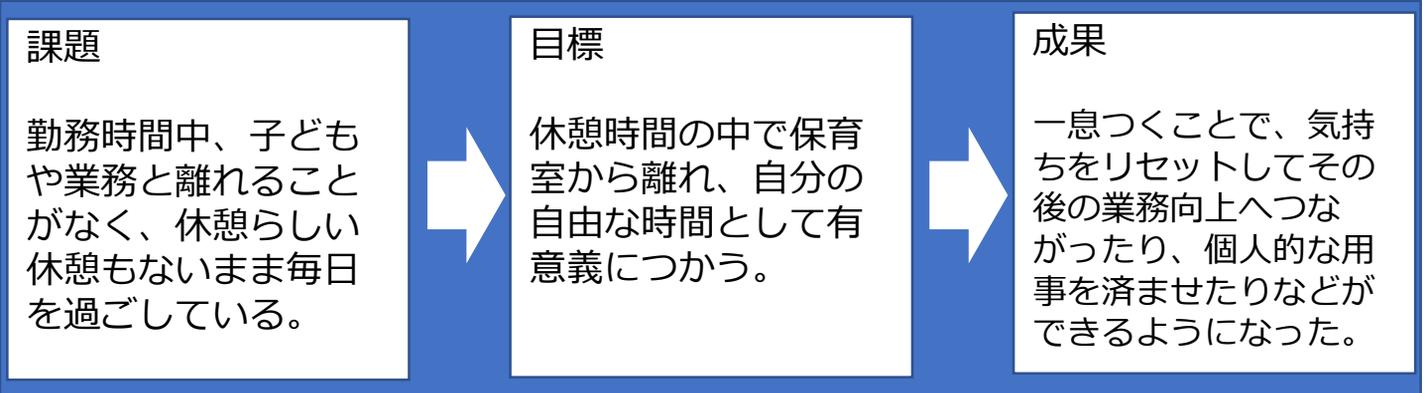


■サマリー



**課題の意図・詳細説明**

勤務時間中に休憩時間はあるものの実際は保育室から離れられず、常に子どもに目をやり集中している。その時間でおこなう業務もあるので、休憩がとれているとはいいがたいのが現状である。

**目標の意図**

以下の項目がメリットとなるのではないかと考えた

- ・保育室から離れ一息つける
- ・気持ちがリフレッシュでき、モチベーションの向上
- ・他クラスの職員とのコミュニケーション向上
- ・個人的な用事等、休憩時間でおこなえる
- ・昼食をゆっくり食べることができる

具体的な取り組み 12月

- ・前例のないことなので、役職員での会議をおこなう
- ・各クラスで生活の時間帯が違うので、休憩可能な時間帯も異なることをふまえ詳細等を含めヒアリングをおこなう
- ・実際の取り組みへ向けて、時間帯や人数、細かなルールの設定など役職員でつめていく

問題点・考慮した点として

- ・取り組みをおこなうにあたり、職員からの様々な意見や希望等があると考えられたが、それを考慮するときりがなくなったり、実際に取り組みにかかれる時期も遅くなってしまうので、トップダウンではあるが「とりあえずやってみよう」というスタンスで職員に伝え、試験期間を経てアンケート調査をおこない、継続の有無を含めその後のプランをたてていく方針としました。

## 休憩・ノンコンタクトタイムについて

- ・ 休憩時間1時間のうち、1人30分ずつ
- ・ 月曜（昼会議）、木曜（掃除）以外の曜日（火・水・金・土）に実施する
- ・ 相談室と児童クラブ室を休憩室として開放する。園外に出てもよい
- ※園外に出る場合は職員室に一声かける（探さなくていいように）
- ・ 職員間で均等性を保てるように（時間帯やカバーする仕事量など）
- ・ 基本的に保育室から離れること
- ・ 以上児クラスへのカバーが必要なときは未満児クラスまたは役職でおこなう
- ※午睡中ではあるが職員数が減るので、子どもに対する注意や観察はしっかりおこなう
- ・ 最初の1週間は時間配分等を決めて、朝会議で伝えます
- ・ 2週間ほど試験期間としておこない、感想や問題点を聞き今後のプランを検討していく

各クラスの保育教諭人数	休憩可能な時間
0歳児 3～5名 ○1名もしくは2名ずつ交代	11時50分～14時（2時間10分）
1歳児 3～4名 ○1名もしくは2名ずつ交代	12時～14時（2時間）
2歳児 3～4名 ○1名もしくは2名ずつ交代	12時30分～14時30分（2時間）
3歳児 2名 ○1名ずつ交代	13時～14時10分（1時間10分）
4歳児 2名 ○1名ずつ交代	13時～14時10分（1時間10分）
5歳児 1名 ○他クラスまたは役職から入る	13時～14時10分（1時間10分）
給食 3名	13時～14時（1時間）

## 具体的な取り組み 1月

- ・ 実際の取り組みを開始する。全職員への周知と対象の職員（1日6時間以上勤務）へのルール等の確認をおこなう
- ・ 約2週間を試験期間としておこない、アンケートの作成をする
- ・ 引き続き職員へのヒアリングをおこなう

### 問題点・考慮した点として

- ・ 無記名でのアンケート作成にあたり、職員からの率直な意見が少しでも多く出るよう考えうる選択項目を多くしました。全員の意見を全員で共有するというねらいを伝え、回収率を100%にするためにアンケート提出と期限をお願いしました。

## 具体的な取り組み 2月

- ・ アンケート結果を含めた問題点や改善点を職員に伝え、引き続き取り組んでいく
- ・ 職員へのヒアリングをおこないながら次回アンケートの内容を検討していく（3月中旬予定）

### 問題点・考慮した点として

- ・ アンケート結果をふまえ改善点、変更点として  
当初のルールでは「全職員で休憩時間は均等に」だったが「各クラス内での職員が均等に」へと変更し、休憩時間をとることでクラス内での作業時間や、コミュニケーションの確保をクラス責任者の判断のもとでおこなうように変更しました。

連絡ノートに関しては、携帯メールを活用したおたよりの頻度を多くしました。

---

## 休憩に関するアンケート

○30分という時間について

- ・短い
- ・ちょうど良い
- ・長い

○休憩のメリット（複数回答可）

- ・一息つける
- ・リフレッシュできて午後からのモチベーションとなる
- ・他クラスの職員とコミュニケーションがとれる
- ・昼食をゆっくり食べることができる
- ・日中の用事等を済ますことができる
- ・その他（自由記入）

○デメリット（複数回答可）

- ・時間確保のために午前の業務が忙しくなる。または焦る
- ・個人の業務や負担が増える

※具体的にあれば

(

等)

- ・連絡ノートやクラスのことを気になる
- ・クラス内でのコミュニケーションが不足する
- ・休憩室で気を遣う
- ・その他（自由記入）

○総合的に考えて

- ・あったほうがよい
- ・ないほうがよい
- ・もう少し試験期間がないとわからない

○その他 自由記入

---

## 休憩に関するアンケートの集計結果

対象者 24名 回答者 24名 回収率 100%

### ○30分という時間について

・短い	・ちょうど良い	・長い	無回答
11名 46%	12名 50%	0名	1名 4%

### ○休憩のメリット（複数回答可）

・一息つける	21名 88%
・リフレッシュできて午後からのモチベーションとなる	7名 30%
・他クラスの職員とコミュニケーションがとれる	7名 30%
・昼食をゆっくり食べることができる	4名 17%
・日中の用事等を済ますことができる	12名 50%
・その他（自由記入）	
用事で外出のときは30分で短いことがある	

### ○デメリット（複数回答可）

・時間確保のために午前の業務が忙しくなる。または焦る	10名 42%
・個人の業務や負担が増える	3名 13%
・連絡ノートやクラスのことが気になる	13名 55%
・クラス内でのコミュニケーションが不足する	9名 38%
・休憩室で気を遣う	5名 21%
・その他（自由記入）	

### ○総合的に考えて

・あったほうがよい	9名 38%
・ないほうがよい	4名 17%
・もう少し試験期間がないとわからない	9名 38%
・無回答	2名 7%

### ○その他 自由記入

- ・行事前などはクラスで作業をしたいことがある
- ・40分のほうがよい
- ・1日に2人ずつや、日数を減らして1週間に2回などかどうか

### ○今後について

- ・継続して取り組んでいき、また職員アンケートをとっていく
- ・活動の準備や行事前の作業、連絡ノートについては  
クラス内で話し合い、均等性を保ち時間や日数など対応していく

## ○取り組んで思ったこと

- ・職員のことを思い、取り組みに関してはメリットが多いただろうと思っていたが、デメリットの意見が意外に多かった。
- ・アンケートを通して職員の意見や考えていることが、よりわかりやすいと感じたので今後もよりよい職場づくりのため、アンケートをつかっていきたい。
- ・当初は不可能だと諦めたことだったが、なんとかやろう。とりあえずやってみよう。と新しいことチャレンジできたことが良かった。
- ・先日、来年度へ向けた会議をおこなう中でも、行事の見直し・誕生会を含めた活動内容・書類関係等を話し合った。
- ・今後も働き方改革への取り組みとして、行事や保育の見直し、業務改善や職員が安心して働ける環境づくり等、取り組んでいきたいと思います。しかしその中でも「子どもファースト」という基本的な考えをしっかりと根底に置き、保育と教育の質が高まるような職場環境を作っていくことを目標に取り組んでいきたいと思います。